

ニュース・レター

No. 35 2012年12月

目次

理事長挨拶	1頁
2012年度総会議事録	3頁
2012年度総会・研究会報告	7頁
2011年度日本選挙学会賞	12頁
『選挙研究』目次	14頁
各委員会からのお知らせ	18頁
理事会だより	21頁
理事会議事録	23頁
事務局だより	35頁

デモクラシー研究としての選挙研究

平野 浩

2012年は世界各国で多くの重要な選挙が行われた年でした。アメリカとロシアの大統領選挙を始め、フランスの大統領選挙と国民議会選挙、韓国の大統領選挙と総選挙、台湾の総選挙、そして言うまでも無く日本の総選挙など、それぞれの国政における方向性を定めるのみならず、今後の世界の政治情勢にも大きな影響を与える選挙ばかりです。同時にこれらの選挙のいずれもが、各々の国におけるデモクラシーの意味を問いかけるものとなりました。選挙はデモクラシーの要ですが、それは各国においてデモクラシーとはどのようなものと考えられているのか、その底流にはどのような価値観が存在しているのかを映し出す鏡でもあります。今後、本学会においても上記各選挙の個別的な分析や、それらの比較研究などの成果が続々と報告されていくことと思いますが、その中でこうしたデモクラシー研究としての選挙研究という視点からの議論が積み重ねられていくことを期待しております。

さて、学会 HP におけるご挨拶の中でも申し上げましたとおり、現在本学会も大きなチャレンジに直面しておりますが、そこで触れました国際化と電子情報化につきましては、現在具体的な形作りを目指して議論を進めている最中です。国際化につきましては、今年度を以てこれまで継続してきた日韓の学会間交流が一段落することを受け、日野愛郎理事を委員長とする国際交流特別委員会を立ち上げ、今後の国際交流事業に関する具体的な方向性を検討中です。来年度の総会においてその内容をご報告できるよう、なお一層議論を

進めさせていただきたいと思います。また電子情報化につきましても、今井亮佑理事を委員長とする電子情報化委員会を設置し、学会活動の様々な側面に関する電子情報化を進めつつあります。先日 HP にも掲載いたしました。学会の入会審査を随時行うことが可能となり、これによって入会の申し込みから承認までの期間が大幅に短縮されました。これもシステム整備の成果の一つと言えます。さらに現在、「選挙研究」の査読プロセスの効率化のための作業も進めているところです。

ただし、これらの新しい制度やシステムが実際に学会の発展に寄与するものとなるためには、会員の皆様のご参加が是非とも必要です。「選挙研究」への投稿、学会報告への応募、新規会員のご推薦など、より一層活発な学会活動のためのお力添えをお願い申し上げます。次第です。

(ひらの ひろし・学習院大学法学部教授)

[目次へ](#)

2012年度総会議事録

2012年度の総会は、2012年5月19日（土）に筑波大学（大会運営委員長＝竹中佳彦理事）にて開催されました。

日 時：2012年5月19日（土） 17時45分～18時30分
場 所：筑波大学 筑波キャンパス

1. 理事長挨拶

西澤由隆理事長より挨拶および研究会運営に対する謝辞があった。韓国選挙学会との従来型の交流を中止した件について報告があった。

2. 開催校挨拶

竹中佳彦 2012年度大会委員長より同大会の進行状況について報告があった。

3. 各委員会活動報告

■ 企画委員会

山田真裕企画委員長より、2012年度研究会日程が順調に進行中である旨が報告された。

■ 年報編集委員会

品田裕年報編集委員長（第28巻担当）より第28巻第1号の準備が順調に進行中であること、また第2号の企画が進行中であることが報告された。（今井亮佑事務局長代読）

■ 学会賞選考委員会

竹下俊郎学会賞選考委員長より、2011年度学会賞受賞者が発表された。

4. 2011年度決算・監査報告

今井事務局長より、経常部分総額13,894,132円、特別会計の年報発行準備金総額10,252,925円からなる2011年度決算報告があった。堤英敬監事より監査報告があり、支出が適正であったと認められ、同決算が承認された。

5. 2012年度予算案について

今井事務局長より、2012年度予算案について趣旨説明があり、経常部分総額14,099,679円、特別会計の年報発行準備金総額10,254,425円からなる2012年度予算案が原案どおり承認された。

6. 2013 年度総会・研究会の開催について

鈴木基史 2013 年度大会委員長より準備状況について説明があった（今井事務局長代読）。

7. 2014 年度総会・研究会の開催について

河野勝 2014 年度大会委員長より、2014 年度総会・研究会を早稲田大学で開催することの報告、ならびに挨拶があった。

8. 2012-13 年度理事・監事候補について

今井事務局長より、2012-13 年度公選理事および推薦理事、監事が紹介された（下表参照）。以上について承認された。

【公選理事】

浅野 和生	阿部 頼孝	池谷 知明	石田 榮仁郎	今井 亮佑
岩崎 正洋	岩渕 美克	河崎 健	小西 徳應	河野 勝
品田 裕	白鳥 令	竹下 俊郎	堤 英敬	日野 愛郎
平野 浩	森 正	森 裕城	森脇 俊雅	山田 真裕

【推薦理事】

川戸 恵子	鈴木 基史	竹中 佳彦
建林 正彦	谷口 尚子	名取 良太

【監事】

岡田 信弘	安野 智子
-------	-------

9. 次期理事長候補挨拶

平野浩次期理事長より、就任に向けての抱負が述べられた。

10. 各委員会委員長候補・事務局長候補・幹事候補紹介

平野浩次期理事長より、次期各委員会委員長・事務局長・幹事予定者が紹介された（下表参照）。

理事長	平野 浩
企画委員長（2013 年度大会担当）	堤 英敬
企画委員長（2014 年度大会担当）	森 裕城
年報編集委員長（2012 年度担当）	品田 裕
年報編集委員長（2013 年度担当）	小西 徳應
年報編集委員長（2014 年度担当）	谷口 尚子
選挙管理委員長	浅野 和生
2012 年度査読委員長	只野 雅人
事務局長	名取 良太
幹事予定者	荒井紀一郎，岡田陽介，境家史郎，清水唯一朗

11. その他

5月19日に開催された理事会で新規入会者6名を承認した旨、今井事務局長より報告された。

以 上

2011 年度 決算報告

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	7,312,647	総会・研究会費	500,000
寄付（櫻田会）	1,400,000	委員会・事務局活動費	1,000,000
科学研究費助成金	1,000,000	事務委託費	771,613
会費	3,954,687	通信費	0
年報等売上金	46,000	ウェブサイト作成・開発費	268,590
委員会活動費返却	179,920	学生アルバイト費	0
利子	878	謝金	35,000
		韓国選挙学会との交流費	100,000
		学会賞賞金	180,000
		印刷費	3,034,245
		文具費	0
		雑費	9,765
		予備費	96,740
		次年度への繰越金	7,898,179
合 計	13,894,132	合 計	13,894,132

年報発行準備金

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	10,251,289	次年度への繰越金	10,252,925
受取利息	1,636		
合 計	10,252,925	合 計	10,252,925

2012 年（平成 24 年）5 月 19 日

以上の通り相違ありません

監事 河野 武司
監事 堤 英敬

2012 年度 予算案

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	7,898,179	総会・研究会費	500,000
寄付（櫻田会）	1,400,000	委員会・事務局活動費	850,000
科学研究費助成金	800,000	事務委託費	800,000
会費	3,950,000	通信費	10,000
年報等売上金	50,000	ウェブサイト作成・開発費	1,000,000
利子	1,500	学生アルバイト費	10,000
		謝金	35,000
		海外交流費	150,000
		学会賞賞金	150,000
		印刷費	3,100,000
		文具費	10,000
		雑費	30,000
		予備費	600,000
		次年度への繰越金	6,854,679
合 計	14,099,679	合 計	14,099,679

年報発行準備金

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	10,252,925	次年度への繰越金	10,254,425
受取利息	1,500		
合 計	10,254,425	合 計	10,254,425

[目次へ](#)

2012 年度総会・研究会報告

2012 年度日本選挙学会総会ならびに研究会は、2012 年 5 月 19 日（土）・20 日（日）に筑波大学で開催されました。

第 1 日 5 月 19 日（土）

◆分科会 A・B・C (10:00~12:00)

【分科会 A (政治過程部会)：政治過程におけるジェンダー】

司会者： 稗田 健志 (早稲田大学)
報告者： 辻 由希 (立命館大学) 「レジーム再編と女性首長」
堀江 孝司 (首都大学東京) 「日本のジェンダー平等政策・少子化対策と政治過程」
大木 直子 (お茶の水女子大学) 「政党の女性候補者戦略についての一考察」
討論者： 稗田 健志 (早稲田大学)

【分科会 B (歴史部会)：政党政治と選挙のあいだ一周辺からみた選挙と正当性】

司会者： 季武 嘉也 (創価大学)
報告者： 若月 剛史 (東京大学) 「政党内閣期における技術官僚の政党・選挙観」
伊東 久智 (早稲田大学) 「『院外青年』からみた普通選挙と政党政治—鈴木正吾と西岡竹次郎の普選認識及び政治運動を中心に—」
小田 義幸 (武蔵野大学) 「占領初期のメディアと政党政治の再生」
討論者： 有馬 学 (九州大学)・平野 浩 (学習院大学)

【分科会 C (比較部会 I)：アジアの選挙】

司会者： 川中 豪 (アジア経済研究所)
報告者： 川村 晃一 (アジア経済研究所) 「インドネシアの大統領制と政党組織：大統領化する政党、大統領化しない政党」
三輪 博樹 (北海道大学) 「スリランカにおける大統領制と政党組織：強力な大統領は政党組織をどう変えるのか」
HONG Jae Woo (Inje University)・KIM Hyung Cheol (Sungkonghoe University)・CHO Sungdai (Hanshin University)
「Coalition Solutions on Perils of Presidentialism」
討論者： 川中 豪 (アジア経済研究所)

◆理事会 (12:05~12:55)

◆分科会 D・E・F (13:00~15:00)

【分科会 D (法律・制度部会) : 選挙制度の思想と管理】

司会者： 湯浅 壱道 (情報セキュリティ大学院大学)

報告者： 大西 裕 (神戸大学) 「選挙管理の多様性」

岡崎 晴輝 (九州大学) 「選挙制度改革の政治思想——第1次細川・河野会談を中心に」

高 選圭 (大韓民国中央選挙管理委員会選挙研修院)

「韓国の在外選挙における在外有権者の認識と投票参加」

討論者： 河村 和徳 (東北大学)・柳瀬 昇 (駒澤大学)

【分科会 E (議会部会) : 議員と政党】

司会者： 藤村 直史 (神戸大学)

報告者： 濱本 真輔 (北九州大学) 「民主党政権下の内閣・党人事—野党時代からの連続と変化—」

飯田 健 (神戸大学) 「議員行動に対する政策要因の影響：大阪維新の会の事例を通じて」

Yu, Ching-Hsin (国立政治大学)・Yu, Eric Chen-hua (国立政治大学)・庄司 香 (学習院大学)

「The Best Man (Woman) Wins? A Comparative Study of Candidate Selection of
Parliamentary Members in Japan, and Taiwan」

討論者： 前田 幸男 (東京大学)・佐々田 博教 (立命館大学)

【分科会 F (社会心理部会) : The Comparative Study of Electoral Systems データの活用】

司会者： 池田 謙一 (東京大学)

報告者： 小林 哲郎 (国立情報学研究所)・稲増 一憲 (武蔵大学)

「The Effect of Media Environment on Electoral Process: Comparative Perspective
Using CSES Module3」

金 兌希 (慶應義塾大学) 「Comparing Political Efficacy: An analysis of CSES Data」

Ian McAllister (Australian National University)

「The Dynamics of Democratic Representation」

討論者： 西澤 由隆 (同志社大学)・Gill Steel (同志社大学)

◆共通論題：議員定数不均衡問題を考える（15:15～17:45）

司会者： 山田 真裕（関西学院大学）

報告者： 岡田 信弘（北海道大学） 「2011（平成23）年最高裁大法廷判決の憲法学的検討—「法」と「政治」の接点で考える—」

小林 良彰（慶應義塾大学） 「議員定数不均衡による民主主義の機能不全～政治学の立場から」

和田 淳一郎（横浜市立大学） 「一票の平等～経済学の立場から」

討論者： 伊藤 光利（関西大学）・森脇 俊雅（関西学院大学）

◆総会（17:45～18:30）

◆懇親会（18:45～）

第2日 5月20日（日）

◆分科会 G・H・I（10:00～12:00）

【分科会 G（地方部会）：地方選挙とポピュリズム】

司会者： 砂原 庸介（大阪市立大学）

報告者： 木寺 元（北海学園大学） 「『ポピュリズム』と『アイディア政治』」

松谷 満（中京大学） 「有権者から見るポピュリズム——東京・大阪・名古屋の調査から」

鵜飼 健史（法政大学） 「ポピュリズムの輪郭を考える—人民・代表・ポピュリスト」

討論者： 待鳥 聡史（京都大学）

【分科会 H（方法論部会）：政治学方法論の最前線：チュートリアル】

司会者： 川人 貞史（東京大学）

報告者： 山本 鉄平（Massachusetts Institute of Technology）

「Recent Developments in the Statistical Analysis of Multiparty Elections
（多党選挙の統計分析における最近の動向）」

根本 俊男（文教大学） 「選挙制度の評価とデザインへの最適化モデルの活用 —大規模データに基づく一票の格差の縮小限界導出—」

討論者： 大村 華子（京都大学）・前田 耕（ノーステキサス大学）

【分科会Ⅰ（比較部会Ⅱ）：中東諸国の選挙】

司会者： 浜中 新吾 （山形大学）

報告者： 金谷 美紗 （上智大学）

「権威主義体制時代におけるアクター間関係と民主化移行への影響 ―革命後エジプトの出發選挙に注目して―」

荒井 康一 （上智大学）

「10%阻止条項つき比例代表制下の政党と有権者の合理的選択～トルコにおける親クルド政党を中心に」

討論者： 山尾 大 （九州大学）・中井 遼 （早稲田大学）

◆理事会（12:10～13:10）

◆ポスターセッション（13:30～14:50）

【選挙研究のフロンティア】

河村 和徳 （東北大学大学院） 「東日本大震災における被災地の選挙」

前田 幸男 （東京大学） 「政党支持の変動―2007年から2011年まで―」

田中 智和 （関西大学大学院） 「地方議会の定数減を考える」

鶴谷 将彦 （立命館大学大学院） 「政権交代後の自民党地方組織」

細貝 亮 （早稲田大学大学院） 「選挙キャンペーンと有権者の政治的学習」

松本 一輝 （平成国際大学） 「2012年台湾総統・立法院選挙」

矢内 勇生 （早稲田大学）・籠谷公司 （Trinity College, Dublin）

「Scramble! External Threats, U.S. Bases, and Prudent Voters in Okinawa」

茨木 正治 （東京情報大学） 「政権交代前後（2009年）の新聞・雑誌マンガにみる政治」

増山 幹高 （政策研究大学院大学）・竹田 香織 （政策研究大学院大学）

「いかに見たい国会審議映像に到達するか？」

岡田 陽介 （慶應義塾大学） 「投票行動の記憶のパネル・データ分析―投票方向の記憶が後の政治意識・投票参加に与える効果―」

三村 憲弘 （早稲田大学）・山崎 新 （早稲田大学大学院）

「反論提示と態度変化：政治的議論において党派・知識が果たす役割」

平野 淳一 （神戸大学） 「市長選挙・衆議院選挙における対立構図のパターンの連動性」

遠藤 晶久 （早稲田大学大学院政治学研究科）

「動員交差圧力と投票行動」

◆分科会 J・K・L (15:00~17:00)

【分科会 J (書評セッション) : 竹中治堅『参議院とはなにか』】

司会者： 待鳥 聡史 (京都大学)
討論者： 平野 貞夫 (元参議院議員)・建林 正彦 (京都大学)
リプライ： 竹中 治堅 (政策研究大学院大学)

【分科会 K (自由論題 I)】

司会者： 岩崎 正洋 (日本大学)
報告者： 松田 なつ (イェール大学) 「When are Working Women's Voices Heard in the Policy-making Processes?」
孫 齊庸 (東京大学) 「政治資金制度における規制レベルの多様性をもたらす要因」
善教 将大 (立命館大学) 「有権者の中の「地方」—なぜ地方政府への信頼は高いのか—」
討論者： 増山 幹高 (政策研究大学院大学)・日野 愛郎 (早稲田大学)

【分科会 L (自由論題 II)】

司会者： 三竹 直哉 (駒澤大学)
報告者： 石川 葉菜 (東京大学) 「社会福祉に対する政策態度：なぜアメリカでは未だにウェルフェアが嫌われているのか？」
渡邊 容一郎 (日本大学) 「2011年イギリスの決断：選挙改革をめぐる国民投票結果とその意味」
討論者： 富崎 隆 (駒澤大学)・岸川 毅 (上智大学)

2011 年度日本選挙学会賞

日本選挙学会賞は、会員相互の研究交流の促進と広い意味の選挙研究の発展を目的として、2009 年度に創設されました。学会賞には、『選挙研究』に掲載された会員の優れた投稿論文を対象とする「優秀論文」、研究会における会員の優れた論文報告を対象とする「優秀報告」、研究会のポスターセッションにおける会員の優れた研究発表を対象とする「優秀ポスター」、の 3 つの賞が設けられています。

2011 年度の受賞者は次のとおりです。

【優秀論文】

山崎 新（早稲田大学大学院）・荒井紀一郎（中央大学）
「政治的洗練性が規定する態度の安定性」

【優秀報告】

庄司 香（学習院大学）
「『対決』型予備選挙と支持表明のポリテクスー—2010 年アメリカ中間選挙を題材に」

平野 淳一（神戸大学）
「市長をめぐる選挙過程——候補者属性と選挙結果の分析から」

【優秀ポスター】

三船 毅（愛知学泉大学）・中村 隆（統計数理研究所）
「歴史的経験の重層化による政治不信の蓄積——ベイズ型コウホートモデルによる分析」

豊田 紳（早稲田大学大学院）
「民主化期選挙と政治暴力——メキシコ地方自治体選挙、1990-2000」

講評

今回の受賞作は、優秀論文については『選挙研究』27 巻に掲載された独立論文 2 本の中から、また、優秀報告については 2011 年度研究会で発表された 29 報告（「ラウンドテーブル」を除く）、優秀ポスターは同じく 12 報告のなかから、それぞれ選ばれました。

優秀論文賞は候補作 2 本の中から選ばれたわけですが、客観的に見ても力作であり、わが国の政治意識研究に大きく寄与する論文です。

優秀報告・優秀ポスターの受賞作も特色ある研究が揃いました。たとえば、アクチュアルな現象に独自の視点から切り込み興味深い説明を提示したもの、骨の折れる膨大なデータ収集にもとづき選挙過程の実態を包括的・体系的に解明したもの、方法論・分析手法の面で今後の選挙研究や関連領域の研究への豊かな応用可能性を示したもの、事例紹介として興味深いだけでなく理論的一般化への明確な志向をもつものなど——。もちろん学会

発表ですから、プレゼンテーションの分かりやすさ、印象深さといった点も考慮に含めました。

今回の受賞対象となった論文・報告および惜しくも選外となった諸研究の全体を概観し、今日の選挙研究のテーマの幅広さやアプローチの多様性にあらためて感じ入りました。選挙学会は決してニッチなコミュニティにとどまるものではなく、より一般的な個別科学の発展に対しても大きな影響を及ぼしうることを再認識したしだいです。

受賞者の方々の今後ますますのご活躍を祈念し、あらためて祝意を表します。

2011 年度学会賞選考委員長 竹下 俊郎

[目次へ](#)

『選挙研究』 目次

第 28 卷 1 号

はじめに	品田 裕
[特集 1] 政治家のキャリア・リクルートと選挙戦略	
候補者選定過程の開放と政党組織	堤 英敬
小選挙区比例代表並立制下での役職配分：民主党の党内対立と政党投票	藤村 直史
市長選挙における二大政党の関与	平野 淳一
[特集 2] アメリカの政治的保守主義	
なぜ経済的保守派は社会的に不寛容なのか：草の根レベルの保守主義の形成における政治的・社会的要因	飯田 健
イラク戦争支持の決定要因： 2004 年大統領選挙時点でのアメリカ世論分析	石生 義人
政治的保守主義の概念化と説明理論の提示： 米国共和党の保守化を手掛かりに	西川 賢
[独立論文]	
アジア的価値を考慮した制度信頼と政治参加の国際比較研究：アジアンバロメータ第 2 波調査データをもとに	池田 謙一
恩顧主義と貿易自由化：コメ保護農政の日韓比較	齊藤 淳 浅羽 祐樹
[公募論文]	
政治的決定の受容と信頼：JABISS 調査と JSS-GLOPE 調査の分析より	善教 将大
[書評]	
砂原庸介 『地方政府の民主主義：財政資源の制約と地方政府の政策選択』	増山 幹高
吉川洋子 『民主化過程の選挙：地域研究から見た政党・候補者・有権者』	岸川 毅

下村太一

『田中角栄と自民党政治： 列島改造への道』

竹中 佳彦

佐々田博教

『制度発展と政策アイデア：満州国・戦時期日本・戦後日本に見る開
発型国家システムの展開』

木寺 元

Krauss, Ellis S. and Robert J. Pekkanen.

The Rise and Fall of Japan ' s LDP: Political Party
Organizations as Historical Institutions. Cornell University
Press; Kabashima, Ikuo, and Gill Steel. 2010. Changing Politics in
Japan

濱本 真輔

日本選挙学会年報『選挙研究』執筆要領・論文投稿規程・論文執筆の手引
ICPSR 国内利用協議会の加盟募集

SSJ データアーカイブより、データ寄託のお願い

英文要約

第28巻2号

はじめに 品田 裕

[特集1] 議員定数不均衡問題を考える

2011（平成23）年最高裁大法廷判決の憲法学的研究
—「法」と「政治」の接点で考える— 岡田 信弘

議員定数不均衡による民主主義の機能不全
—民意負託，国会審議，政策形成の歪み— 小林 良彰

定数配分と区割り
—経済学の視点から— 和田淳一郎

[特集2] 新しい方法による政治学

Can Adaptively Rational Voters Control Public Policies?
—Computational Extension of Outcome-Oriented Voting—
Etsuhiro Nakamura
Yusuke Chamoto
Tadahiko Murata
Ryota Natori

一票の格差のリスク実測による衆議院小選挙区制見直しへの考察 根本 俊男

[特集3] 制度の比較に基づく選挙研究

Electoral Management Bodies and Electoral Governance Yutaka Onishi

インドネシアの大統領制と政党組織
—大統領制化する政党、大統領制化しない政党— 川村 晃一

[公募論文]

市町村議会における女性の参入 松林 哲也
上田 路子

<書評セッション>

竹中治堅『参議院とは何か』 平野 貞夫
建林 正彦

[資料] 最近の選挙結果 三船 毅

[書評]

待鳥聡史
『首相政治の制度分析』 前田 幸男

日野愛郎 New Challenging Parties in Western Europe	孫 齊庸
的場敏博 『戦後日本政党政治史論』	井上 正也
大村華子 『日本のマクロ政体—現代日本における政治代表の動態分析』	荒井紀一郎
辻 由希 『家族主義福祉レジーム の再編とジェンダー政治』	網谷 龍介
井手弘子 『ニューロポリティクス：脳神経科学の方法を用いた政治行動研究』	谷口 尚子
堤英敬・上神貴佳 『民主党の組織と政策』	久保 慶明

日本選挙学会賞
 2012 年度日本選挙学会総会・研究会日程
 日本選挙学会会則
 日本選挙学会会費規程
 日本選挙学会理事・監事候補者選出規程
 日本選挙学会編集委員会規程
 日本選挙学会査読委員会規程
 日本選挙学会役員
 日本選挙学会資料：歴代理事長一覧、総会・研究会開催校一覧
 日本選挙学会年報『選挙研究』執筆要領・論文投稿規程・論文執筆の手引
 ICPSR 国内利用協議会の加盟募集
 SSJ データアーカイブより、データ寄託のお願い
 英文要約

[目次へ](#)

各委員会からのお知らせ

【企画委員会から】

2013年度の日本選挙学会の総会・研究会は、2013年5月18日（土）・19日（日）に京都大学（大会運営委員長・鈴木基史理事）で開催されます。

研究会では10の分科会、すなわち、議会部会「立法と選挙活動」、比較部会「ヨーロッパ極右の戦略的変容」、法律・制度部会「選挙をとりまく制度の再検討」、地方部会「組織票の行方」、方法論部会「自然実験と構造推定」、社会心理部会「政治的態度研究の新展開」、歴史部会「55年体制成立前後のインフラ整備と選挙」、国政部会「民主党政権下の政党組織・政策過程・議員行動」、公募報告セッション「選挙・政策・政権」、「政治意識の諸相」が企画されています。また例年通り、2日目の午後にはポスターセッション「選挙研究のフロンティア」が行われます。

1日目に開催される共通論題のテーマは「政権交代以降の投票行動・政治意識」で、2012年総選挙も含めた政権交代後の「民意」の動向について、多面的な検証が行われる予定です。また2日目には、選管関係者もお招きして、特別セッション「被災地における選挙管理と政治意識」を開催いたします。いずれもふるってご参加をいただければと存じます。

プログラムの詳細は、近日中に学会のウェブサイトで公開の予定ですので、会員各位にはご確認いただければ幸いです。また、今後のスケジュールは、以下のとおりとなっております。

- 2月16～28日：報告概要アップロード期間
- 3月3日：報告概要一般公開開始
- 4月16～30日：報告論文アップロード期間
- 5月1日：報告論文ダウンロード開始（会員限定）
- 8月19日：報告論文アーカイブ移行

なお、ポスターセッションにつきましては、報告枠にまだ余裕がございますので、追加募集を行っております。報告を希望される方は、学会ウェブサイトのMy JAESから、1月31日（木）までにお申し込みください。

それでは、会員の皆様と京都大学にてお会いするのを楽しみにしております。

（2013年度大会企画委員長 堤 英敬）

【年報編集委員会から】

『選挙研究』第28巻第1号は6月に刊行し、皆様のお手元に届いていることと存じます。第28巻第2号は、5月に開催されました研究会報告をもとに、共通論題の議員定数不均衡問題に加えて、応用的手法および制度比較による選挙研究を特集し、また査読を通過した投稿論文1本を掲載しております。

年内に刊行，発送予定ですので，この御案内に前後してお手元に届くことと存じます。

(年報第 28 巻担当編集委員長・品田裕)

『選挙研究』第 29 巻の年報編集委員会は現在，第 1 号の企画および書評の選考を進めています。現段階では，第 29 巻第 1 号の企画として諸外国の選挙制度の発生と変容に注目した「選挙制度の発生（仮）」，「震災と選挙（仮）」を，第 2 号の企画として「選挙制度の受容と伝播（仮）」を検討しています。なお刊行予定ですが，第 29 巻第 1 号は 2013 年 6 月，第 2 号は 2013 年 12 月の刊行を目指しています。原則，2013 年 3 月までに査読を通過した論文は第 1 号に，同年 9 月までに通過した論文は第 2 号に掲載される予定です。会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

(年報第 29 巻担当編集委員長・小西徳應)

※※※論文投稿と送付先※※※

1. 投稿の申し込み：

投稿は随時受け付けております。論文を投稿できるのは，投稿時点において年会費を完納している日本選挙学会の正会員です。論文を投稿するにあたっては，学会ウェブ上の My JAES で会費納入状況を確認して下さい。なお，会費納入状況は月末締めで更新されますことにご留意下さい。投稿の詳細につきましては，学会ウェブの執筆要領・論文投稿規程 (<http://www.jaesnet.org/download/rules/JJES20121208.pdf>) をご確認ください。

2. 投稿原稿の送付先：

投稿原稿は PDF で editor@jaesnet.org に添付ファイルとして送信ください。投稿資格，様式などを確認のうえ，年報編集委員会より投稿受理の連絡を投稿者にするとともに，査読委員会に投稿論文を送付します。投稿後，時間が経過しても（2 週間程度）原稿受理の連絡がない場合，改めて連絡をいただければ幸いです。なお，投稿の際には，

- ①タイトル
- ②執筆者名
- ③所属・職名
- ④連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail アドレス

を記載した添付ファイルも忘れず送信ください。

【査読委員会から】

2008 年度に発足した査読委員会も、今年度で 5 年目となります。メンバーは、委員長を含めて 6 名（委員長以外は、氏名は非公開）です。学会誌『選挙研究』への投稿論文について、3 名のレフリー（匿名）を選定して査読を依頼し、査読結果をもとに、論文の採否の判定を行っています。判定のための委員会は年 4 回開催されます。今年度は第 1 回委員会を 10 月に、また第 2 回を 12 月に開催しております。第 3 回は 2 月下旬、第 4 回は 5 月中旬の予定です。

建林正彦前委員長から私が委員長を引き継ぎ、2012 年 6 月に新委員会が発足しました。

当初はなかなか投稿がなく、心配しておりました。第1回の委員会も、例年より遅めの開催となりました。しかし秋以降は、順次投稿論文が届いております。投稿があるたびに、委員会で審議のうえ、関連分野で実績のある会員のみなさま（非会員にお願いする場合があります）にレフリーを依頼しておりますが、ご多忙な中、しかも短期間での査読をお願いしているにもかかわらず、快くお引き受けいただいております。また査読結果とともに、論文についての有益なコメントも、併せていただいております。レフリーをお引き受けくださったみなさまには、この場を借りて、感謝申し上げます。

前任のみなさまのご尽力で査読の手続は整備されております。しかし他方、制度を運用してゆく中で、細部については、検討すべき点もあるように感じております。査読のあり方がよりよいものになりますよう、引き続き改善に努めてまいりたいと思います。

会員のみなさま、特に若手会員のみなさまからの、積極的な投稿をお待ちしております。

（2012年度査読委員長・只野雅人）

理事会だより

【学会賞について】

2012年12月8日に開催された2012年度第3回理事会において、以下の「2013年度日本選挙学会賞要綱」が承認されました。

2013年度日本選挙学会賞要綱

日本選挙学会事務局

（目的）

1. 日本選挙学会は、会員の優れた研究業績を顕彰するために、本学会に学会賞を設ける。

（学会賞の種類）

2. 学会賞として、以下を設ける。

- 1) 優秀ポスター

2013年度研究会のポスターセッションにおける会員の優れた研究発表を対象とする。

- 2) 優秀報告

2013年度研究会における会員の優れた論文報告を対象とする。

- 3) 優秀論文

2013年度に発行された、日本選挙学会年報『選挙研究』（第28巻第1号・第2号）に掲載された会員の優れた投稿論文を対象とする。

（選考委員会）

3. 学会賞の選考のため、選考委員会を組織する。選考委員会の構成は、以下の通りとする。

- 1) 選考委員会は、理事長の推薦、理事会の承認を得た選考委員長及び選考副委員長、当該年度の企画委員長、編集委員長、査読委員長によって構成される。

- 2) 選考委員会は、ポスター小委員会、報告小委員会、論文小委員会を組織し、それぞれ小委員会委員を会員に委嘱する。ただし、小委員会委員は公表しない。

- 3の2. 選考委員会および各小委員会の任期は、各委員会の組織された日から学会賞の表彰される当該年次総会までとする。ただし、再任を妨げない。

（選考手続き）

4. 学会賞は以下の手続きによって選考する。

- 1) 各小委員会は、対象となる研究業績について第一次選考を行い、第二次選考に残る研究業績を選考委員会に提案する。

- 2) 選考委員会は、各小委員会の提案に基づき、第二次選考を最終選考とし、受賞候補を決定する。

- 3) 選考委員会は、定められた期日までに選考の経過および結果を理事会に報告する。

(表彰)

5. 受賞者それぞれに、賞状および副賞として賞金を授与する。

【代表派遣について】

韓国選挙学会との交流規程に基づき、11月に韓国で開催された韓国選挙学会に、本学会は白鳥令理事を派遣いたしました。

[目次へ](#)

日本選挙学会 2011年度第3回理事会議事録

日 時：2011年12月3日（土） 13時00分～16時00分

場 所：早稲田大学 7号館 Faculty Lounge Meeting Room

出席者：西澤理事長，今井事務局長，浅野，阿部，池谷，岩崎，岩淵，川戸，河村，河野，小西，竹中，谷口，平野，森，山田（以上，理事），荒井，境家，名取，日野（以上，幹事），建林（査読委員長，オブザーヴァー），森（電子ジャーナル特別委員長，オブザーヴァー）

議題

◎ 確認事項（前回議事録）

2011年9月10日（土）開催の2011年度第2回理事会議事録が承認された。

◎ 報告事項

1. 2011年度理事候補者選挙について

岩淵美克選挙管理委員長より2011年度理事候補者選挙の結果について報告があった。今回はハガキによる投票の督促を行い，計191通の投票（投票率53.8%）があった。開票の結果，一般選挙区から10名，A選挙区から5名，B選挙区から5名の理事候補者を選出した。

2. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

山田真裕企画委員長から2012年度研究会企画の概要について報告があった。

■ 年報編集委員会

増山幹高編集委員長（第27巻担当）より（欠席により今井亮佑事務局長代理報告），第27巻第2号が12月中に発送されるとの報告があった。

■ 年報編集委員会

品田裕編集委員長（第28巻担当）より（欠席により今井事務局長代理報告），同委員会構成が決定された旨，また第28巻第1号の内容予定について説明があった。

■ 査読委員会

建林正彦査読委員長より、投稿論文査読過程の最新状況について説明があった。また今井事務局長より、同委員会内部資料の保存・継承のあり方、また査読委員長就任要件に関する今後の方針について説明があった。

■ 電子ジャーナル特別委員会

特に報告事項はなかった。

3. 2012 年度総会・研究会の開催について（筑波大学）

特に報告事項はなかった。

4. 2013 年度総会・研究会の開催について（京都大学）

特に報告事項はなかった。

5. 韓国選挙学会との交流について

今井事務局長より、韓国選挙学会年次大会（11月18日開催）に川人貞史前理事長が派遣された旨の報告があった。

また同事務局長から、派遣者の旅費に関して以下の説明があった。

- ・ 「日韓選挙学会交流規程」に基づき、当学会は韓国選挙学会から派遣された報告者の渡航旅費、国内交通費、宿泊費を含めた経費として日本円で10万円を支払ってきた。同規程は、当学会からの派遣者に対して韓国選挙学会が支払う金額については定めていない。
- ・ 韓国選挙学会は、今回を含め例年100万ウォンを当学会からの派遣者に対して支払っている。今回は、西澤理事長および事務局の判断により、為替変動による（100万ウォンと10万円との）差額分として、川人前理事長に対して35000円を当学会が支払うこととした。

6. 科研費について

前回理事会において「2011年度の研究成果公開促進費が100万円から70万円に減額された」旨の報告がなされたが、その後、100万円の支給に戻されることとなった旨、今井事務局長より報告された。

7. 2011 年度日本選挙学会賞について

竹下俊郎 2011 年度日本選挙学会賞選考委員長より（欠席により今井事務局長代理報告）、2011 年度日本選挙学会賞の選考過程および結果について報告があった。

◎ 審議事項

8. 2012 年度日本選挙学会賞について

今井事務局長より、「2012 年度日本選挙学会賞要綱」案が説明された。審議を経て、同案を承認した。

9. 査読委員会からの提案事項について（継続）

査読委員の氏名公開の是非について審議がなされた。審議の結果、「査読委員会規程第二条第四項」を修正し、査読委員の氏名を退任後に原則公開することとした。

10. その他

（1）入退会申込者について

入会希望者1名を承認した。

（2）その他

西澤理事長より、2014 年度総会・研究会が早稲田大学において実施される予定であると発表された。

（3）意見交換

■ 非会員の大会への参加について

例年大会前に非会員から事務局もしくは開催校に、大会参加の可否の問い合わせがあるが、これにどう対応すべきかという点について意見交換がなされた。議論を経て、大会受付時に「会員用窓口」のほかに、「取材用窓口」と「非会員用窓口」を設けてはどうかという案を得た。メディア関係者でない非会員への対応については、今後さらに検討すべきとした。

■ 「理事長との懇談」について

2011 年度大会時の理事長と会員との懇談会において、会員より提起された意見が紹介され、それについて意見交換がなされた。

■ 韓国選挙学会との交流のあり方について

韓国選挙学会との交流のあり方に関して、交流の窓口となってきた浅羽祐樹会員との懇談の結果が紹介され、これについて意見交換を行った。

以上

日本選挙学会 2011 年度第 4 回理事会議事録

日 時：2012 年 3 月 10 日（土） 12 時 30 分～14 時 30 分

場 所：早稲田大学 7 号館 Faculty Lounge Meeting Room

出席者：西澤理事長，今井事務局長，浅野，阿部，池谷，岩崎，川戸，河村，河野，小西，品田，竹中，谷，谷口，平野，三船，森，山田（以上，理事），荒井，境家，名取，日野（以上，幹事），森（電子ジャーナル特別委員長，オブザーヴァー），堤（監事，オブザーヴァー）

議題

◎ 確認事項（前回議事録）

2011 年 12 月 3 日（土）開催の 2011 年度第 3 回理事会議事録が承認された。

◎ 報告事項

1. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

山田真裕企画委員長より，2012 年度研究会の準備状況について報告があった。報告者のレジュメがすでにほぼ全員ウェブ上にアップロード済みであること，またツイッター等の利用により研究会報告の状況をネット中継することについては自粛をお願いする方向で検討していることが報告された。

■ 年報編集委員会

増山幹高年報編集委員長（第 27 巻担当）より（欠席により今井亮佑事務局長代読），予定通りに第 27 巻を刊行した旨が報告された。

■ 年報編集委員会

品田裕年報編集委員長（第 28 巻担当）より，第 28 巻第 1 号の準備状況について，論文 1 本を除いてすでに出版社に入稿済みであることが報告された。

また今井事務局長より，櫻田会を訪問し活動報告を行ったこと，また次年度の助成金をいただいたことが報告された。

■ 査読委員会

建林正彦査読委員長より（欠席により今井事務局長代読），投稿論文の審査状況について報告があった。

■ **電子ジャーナル特別委員会**

森正電子ジャーナル特別委員長より、J-STAGE への論文アップロード作業の進捗状況について報告があった。

2. 2012 年度総会・研究会の開催について（筑波大学）

竹中佳彦 2012 年度大会委員長より、2012 年度研究会および懇親会の準備状況について報告があった。

3. 2013 年度総会・研究会の開催について（京都大学）

鈴木基史 2013 年度大会委員長より（欠席により今井事務局長代読）、2013 年度研究会が 2013 年 5 月 18 日・19 日に開かれる予定であることが報告された。

4. ニュース・レターについて

今井事務局長より、年初にウェブ上でニュース・レター 34 号を発行した旨が報告された。

5. 2011 年度日本選挙学会賞について

今井事務局長より、2011 年度日本選挙学会賞受賞者 5 名全員が、2012 年度総会での表彰、懇親会での授賞式に出席の意向であると報告された。

6. 次期理事・監事候補について

今井事務局長より、次期理事・監事候補全員から就任の意向を確認していると報告された。

◎ **審議事項**

7. 査読委員会について

西澤由隆理事長より、只野雅人会員の new 委員長就任が提案され、これを承認した。

西澤理事長より、新副委員長候補が提案され、これを承認した。

また査読委員の氏名公開の是非について、「日本選挙学会査読委員会規程」の事務局改訂案を審議し、修正の上これを承認した。

8. 2012 年度日本選挙学会賞選考委員会について

西澤理事長より、鈴木基史会員の 2012 年度日本選挙学会賞選考委員長就任について提案があり、これを承認した。

西澤理事長より、新副委員長候補が提案され、これを承認した。

9. 韓国選挙学会との交流について

今井事務局長より、2月28日に西澤理事長・浅羽祐樹会員・今井事務局長の3名で韓国選挙学会との交流のあり方について検討する会合を持った旨が報告された。これを踏まえ、以下のことが事務局から提案された。

- ・ 2013年5月で「日韓選挙学会交流規程」の承認から10年の節目となり、また個人ベースでの交流が昨今盛んとなったことを踏まえ、日本選挙学会からの派遣については2012年秋の大会で、韓国選挙学会からの派遣については2013年5月の大会をもって、一旦、交流を中止したい旨を韓国選挙学会に伝える。

審議を経て、提案が承認された。また、新たな海外交流のあり方として、(若手)研究者を対象に、海外の学会で報告する際の渡航費を援助するなどの新制度の導入の提案が事務局からあったが、それについては継続審議とした。

10. 2012年度予算案について

今井事務局長から2012年度予算案方針について説明があり、審議の上これを承認した。

11. その他

(1) 入退会申込者について

新規入会希望者6名、退会希望者3名を承認した。

(2) その他

今井事務局長から、『日本選挙学会紀要』掲載論文をPDF化し、学会ホームページ上でアップロードしてはどうかという提案があった。審議を経てこの方針を承認した。

(3) 意見交換

日本行政学会との研究会開催の日程調整について問題提起があった(山田理事)。

以 上

日本選挙学会

2011 年度第 5 回理事会議事録

日 時：2012 年 5 月 19 日（土） 12 時 05 分～12 時 55 分

場 所：筑波大学・筑波キャンパス 1C302 会議室

出席者：西澤理事長，今井事務局長，浅野，阿部，池谷，岩崎，河崎，川戸，河村，黄，河野，小西，品田，竹中，谷，谷口，平野，三船，森，山田（以上，理事），鈴木（2013 年度大会開催校委員長，オブザーヴァー），建林（査読委員長，オブザーヴァー），森正（電子ジャーナル特別委員長，オブザーヴァー），荒井，境家，名取，日野（以上，幹事），堤（監事）

議題

議事に先立ち，西澤由隆理事長より挨拶および大会開催への謝辞が述べられた。

◎ 確認事項（前回議事録）

2012 年 3 月 10 日（土）開催の 2011 年度第 4 回理事会議事録が承認された。

◎ 報告事項

1. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

山田真裕企画委員長より 2012 年度大会の進行状況，および同大会企画の変更点について報告があった。

■ 年報編集委員会

品田裕年報編集委員長（第 28 巻担当）より第 28 巻第 1 号の準備が順調に進行中であること，また第 2 号の企画が進行中であることが報告された。

■ 査読委員会

建林正彦査読委員長より，投稿論文の審査状況について報告があった。

■ 電子ジャーナル特別委員会

森正電子ジャーナル特別委員長より，JSTAGE への論文アップロードに向けて準備を進めている旨が報告された。

2. 2012 年度総会・研究会の開催について（筑波大学）

竹中佳彦 2012 年度大会委員長より同大会の進行状況について報告があった。

3. 2013 年度総会・研究会の開催について（京都大学）

鈴木基史 2013 年度大会委員長より準備状況について説明があった。同大会は 2013 年 5

月 18 日・19 日に開催される予定である。宿泊施設の不足が懸念されること、また学生アルバイトの不足のため大会運営に他大学の協力が必要であることが説明された。

4. 2011 年度決算・監査報告について

今井亮佑事務局長より 2011 年度の決算報告があった。堤英敬監事より監査報告があり、支出が適正であったと認められた。また委員会経費の残金の返金を可能にしてはどうかという提案が河野武司監事（欠席）からあった旨、今井事務局長より説明された。

◎ 審議事項

5. 2012 年度予算案について

今井事務局長より 2012 年度予算案について説明があった。審議を経て同予算案を承認した。

6. 海外交流について

西澤理事長より、韓国選挙学会会長と連絡を取り、従来形式の学会間交流を中止することについて先方の了解を得たという旨の報告があった。

7. その他

(1) 入退会申込者について

新規入会希望者 6 名を承認した。

(2) その他

今井事務局長より以下の 2 点が報告された。

・海外在住の会員が会費をクレジットカード決済で支払えるシステムを組めないか事務委託業者に依頼していた件は、先方の事情により実現不可能になった。海外在住の会員にはクレジットカード決済の導入を見越して多めに会費請求を行ったという経緯があり、対処が必要である。

・事務委託業者が会費未納者に対する督促を行う際、別人のメールアドレスを併せて記載した払込書を送付するというミスがあったことが発覚した。該当する会員は 22 名である。以上 2 件の事後処理は今井事務局長が担当する。

(3) 意見交換

・研究会報告論文が提出期限に遅れた場合に、当該報告をどのように扱うべきかという問題について、学会として一定の方針を設ける必要があるのではないかと、という意見があった。

・学会賞受賞者を懇親会に招待する際の費用分担について、現在は開催校が負担しているがこれを見直す必要があるのではないかと、という意見があった。

日本選挙学会

2012 年度第 1 回理事会議事録

日 時：2012 年 5 月 20 日（日）12:10～13:20

場 所：筑波大学・筑波キャンパス 1E204

出席者：平野理事長，名取事務局長，浅野，阿部，池谷，今井，岩崎，河崎，川戸，河野，小西，品田，白鳥，鈴木，竹下，竹中，建林，谷口，堤，日野，森（正），森（裕），森脇，山田（以上，理事），只野（査読委員長，オブザーバー），荒井，岡田，境家（以上，幹事）

議題

議事に先立ち，平野浩理事長から挨拶および出席者の自己紹介があった。

◎ 審議事項

1. 幹事の委嘱について

荒井紀一郎会員，岡田陽介会員，境家史郎会員，清水唯一朗会員に事務局幹事の委嘱がなされ，承認された。

◎ 報告事項

2. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

堤英敬 2013 年度大会企画委員長より，委員メンバーの紹介があった。

森裕城 2014 年度大会企画委員長より挨拶があった。

■ 年報編集委員会

品田裕年報編集委員長（第 28 巻担当）より第 28 巻第 1 号の準備が順調に進行中であること，また第 2 号の企画が進行中であることが報告された。

小西徳應年報編集委員長（第 29 巻担当）より挨拶があった。

谷口尚子年報編集委員長（第 30 巻担当）より挨拶があった。

■ 選挙管理委員会

浅野和生選挙管理委員長より挨拶があった。

■ 査読委員会

只野雅人査読委員長より挨拶があった。

3. 2013 年度総会・研究会の開催について（京都大学）

鈴木基史 2013 年度大会委員長より準備状況について説明があった。同大会は 2013 年 5 月 18 日・19 日に開催される予定である。宿泊施設の不足が懸念されること、また学生アルバイトの不足のため大会運営に他大学の協力が必要であることが説明された。鈴木委員長には、大会運営経費を 2013 年度予算に計上できるように事前予算案を提出することが求められた。

4. 2014 年度総会・研究会の開催について（早稲田大学）

河野勝 2014 年度大会委員長より準備状況の説明があった。

5. 2012 年度予算について

2012 年度総会で承認された同年度予算について確認した。

◎ 審議事項

6. 電子情報化委員会の設置および委員長の選任について

平野理事長より、投稿・査読プロセスの電子化、インターネット上での情報発信等を進めるため「電子情報化委員会」を設置することが提案された。審議を経て委員会設置を承認した。また今井亮佑理事を同委員会の委員長とすることが承認された。今井理事には委員の選出が依頼された。

7. 国際交流特別委員会の設置および委員長の選任について

平野理事長より、学会の新しい国際交流のあり方を検討するため「国際交流特別委員会」を設置することが提案された。審議を経て委員会設置を承認した。また日野愛郎理事を同委員会の委員長とすることが承認された。日野理事には委員の選出が依頼された。

8. 随時入会承認について

平野理事長より、オンラインによる随時入会承認制度の導入が提案された。入会プロセスを短期化し、論文投稿や研究会報告を促進・円滑化することが狙いである。審議を経て、入会申し込みがあった際には、(1)入会申込書の PDF ファイルを各理事が閲覧できるよう

にすること、(2)メールで各理事に入会の可否を問うこと、(3)この手続きは持ち回りの理事会と見做すこと、(3)一定の期日までに否認、疑義等が1件もなかった場合には、入会が承認されたこととすること、(4)否認、疑義等が1件でもあった場合には、継続議案として次の理事会において審議を行うこと、が承認された。以上の承認手続きを試行的に開始し、何か問題点が出た場合には、改めて理事会で検討することとなった。

9. その他

■ 入退会申込者について

1名の新規入会希望者を承認した。

■ その他

特になし。

◎ 懇談事項

10. 科研費（成果公開促進費）の改正について

今年度の科研費（成果公開促進費）申請の進め方について意見交換がなされた。次回理事会までに方向性を決めることとした。

11. 2013年度学会賞の選考について

山田真裕理事より、学会賞選考に当たっては企画委員会と学会賞選考委員会の連携をさらに強化すべきであるとの意見が出された。

12. 査読委員の氏名公開について

査読委員の氏名を任期後に公開するルールについて、さらに整備する必要があると確認された。同件は継続審議されることとなった。

13. 2013年度予算における委員会・事務局活動費の取り扱いについて

委員会・事務局活動費の残金を返金可能とする場合の問題点について意見交換がなされた。同件は継続審議されることとなった。

14. その他

随時入会承認制度の詳細について意見交換がなされた。

以上

日本選挙学会 2012年度第2回理事会議事録

日 時：2012年9月15日（土） 14時00分～17時00分

場 所：学習院大学・目白キャンパス

東2号館（法経研究棟）8階 法学部第2会議室

出席者：平野理事長，名取事務局長，今井，岩崎，小西，品田，白鳥，竹中，谷口，堤，
日野，森（裕），森脇（以上，理事），荒井，岡田，境家（以上，幹事）

議題

◎ 確認事項

2012年5月19日開催の2011年度第5回理事会議事録、2012年度総会議事録、5月20日開催の2012年度第1回理事会議事録が承認された。

◎ 報告事項

1. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

堤英敬企画委員長から2013年度研究会の企画案、報告応募の状況について報告があった。

■ 年報編集委員会

品田裕年報編集委員長（第28巻担当）より、第28巻第1号の発送および同第2号の準備状況に関する報告があった。第2号は特集2本で構成され、投稿論文が1本収録される予定である。また投稿論文の字数制限（2万字）の妥当性についての問題提起があった。

■ 年報編集委員会

小西徳應年報編集委員長（第29巻担当）より、編集委員の選定に関する報告があった。

■ 査読委員会

只野雅人査読委員長より（欠席により名取良太事務局長代読）、投稿論文の査読状況についての報告があった。

■ 学会賞選考委員会

鈴木基史学会賞選考委員長より（欠席により名取事務局長代読）、2012 年度学会賞の選考状況について報告があった。

■ 情報化委員会

今井亮佑情報化委員長より、同委員会の運営方法について報告がなされた。学会誌掲載論文の電子化には、委員長と事務局および学生アルバイトによって対応する方向である。

■ 国際化委員会

日野愛郎国際化委員長より、同委員会委員の選定について報告があった。アジア地区担当委員として浅羽祐樹会員、アメリカ地区担当委員として飯田健会員が選任され、ヨーロッパ地区は日野委員長の担当とする。

2. 2012 年度総会・研究会について（筑波大学）

竹中佳彦 2012 年度大会委員長より、2012 年度総会・研究会についての総括がなされた。同研究会には 179 名、懇親会には 105 名の参加があった。日本行政学会との日程調整、開催校補助費の額の妥当性、ポスターセッションのパネルサイズの規定などが課題として示された。

3. 2013 年度総会・研究会の開催について（京都大学）

鈴木基史 2013 年度大会委員長より（欠席により名取事務局長代読）、同大会の準備状況についての報告があった。京都大学から懇親会会場への移動にバスのチャーターが必要であり、その予算措置への要望があった。同件については、予算増額措置以外の方法を、引き続き検討すべきとの意見が出された。

4. 2014 年度総会・研究会の開催について（早稲田大学）

河野勝 2014 年度大会委員長より（欠席により名取事務局長代読）、同大会の準備状況についての報告があった。

5. 入会承認システムについて

ウェブ上での入会承認システムについて、名取事務局長から説明があった。入会承認についての理事の回答期限を 2 週間とし、異議が 1 件もなければ承認、そうでない場合には次期理事会で再度審議することとなった。

6. 本年度科研費について

名取事務局長より、7月中旬に科研費の入金（80万円）があった旨が報告された。

◎ 審議事項

7. 韓国選挙学会との交流について

名取事務局長より、11月23日の韓国選挙学会への報告者の派遣について説明がなされた。報告者は現在選定中である。また今回は最後の交流であることから、浅羽会員を学会の費用負担で派遣することが提案された。同件を承認した。

8. 委員会・事務局活動費の取り扱いについて

名取事務局長より、学会支出の透明性確保の観点から、委員会活動費等について以下の提案がなされた。

・2013年度より、各委員会委員長に対して任期初めに規定額を預けることとする。各委員長は、活動経費に関する領収書・レシート等の証拠書類を任期中保管し、任期終りにこれをまとめて提出する。この際、各委員長は実際に要した経費の総額を示した領収書を学会に対して発行する。この総額が規定額に満たない場合は、その残額を返金する。上限額は規定額とする。

・事務局活動費についても上に準じた扱いとする。

・大会開催校補助費については、当該大会実施後の9月に開催される理事会において収支報告を行い、承認を求める。領収書は開催校で保管する。

以上について、審議を経て承認した。

9. 査読委員の氏名公開について

名取事務局長より、査読委員の氏名公開についての新規程を2012年度査読委員会委員から適用すること（公開開始は2014年度から）、また掲載媒体をニューズレターとすることが提案された。同件を承認した。

10. その他

(1) 入退会申込者について

新規入会希望8件について承認した。

(2) その他

6月29日(金)に西澤由隆前理事長・今井前事務局長・平野浩理事長・名取事務局長で桜田会を訪問し、理事長交代の挨拶を行った旨、名取事務局長より報告された。

◎ 懇談事項

(1) 次年度科研費申請について

(2) 国際交流のあり方について

(3) 投稿の促進について

次年度の科研費申請、国際交流のあり方、論文投稿の促進に関して、活発な意見交換が行われた。

以上

[目次へ](#)

事務局だより

【新入会員】

昨年度のニュース・レター発行後に入会申請が承認された方は、以下の 24 名です（申請時の所属を記載しております）。

金谷 美紗	（上智大学）	古城 隆文	（東京工業大学）
佐々田 博教	（立命館大学）	秦 正樹	（神戸大学大学院）
荒井 康一	（上智大学）	奥田 喜道	（跡見学園女子大学）
岡崎 晴輝	（九州大学）	本多 勉	（法政大学大学院）
末吉 南美	（関西学院大学）	篠原 新	（九州大学大学院）
岩田 温	（秀明大学）	中村 隆	（統計数理研究所）
尾崎 敦司	（早稲田大学大学院）	山形 勝義	（東洋大学）
竹本 圭佑	（東京大学大学院）	斎藤 文弘	（中央大学大学院）
タック川崎	（筑波大学）	茨木 瞬	（横浜市立大学大学院）
レスリー			
川口 航史	（東京大学大学院）	横山 智哉	（一橋大学大学院）
清水 豊	（参議院議員岩井茂樹事務所）	西田 和憲	（早稲田高等学校）
尹 月	（東京大学大学院）	田村 一郎	（兵庫県庁）

【退会会員】

昨年度のニュース・レター発行後、20 名の会員が退会され、3 名の会員が今年度末で退会予定です。

【現在の会員数】

上記の異動で、2012 年 12 月現在の会員数は、501 名（うち 3 名は今年度末で退会予定）となっております。

【会費の納入について】

会費は郵便振替によって納入して頂いております。口座番号と会費は以下の通りです。

口座番号

振込先（加入者名） : 日本選挙学会
口座番号 : 00170-2-31731

年会費

正会員（大学院生以上） : 8,000 円
法人会員 : 50,000 円
準会員（学部学生のみ） : 2,000 円

会費を納入された方には、該当する年度の『選挙研究』を送付いたします。

過去の会費の滞納状況によっては、学会からの事務連絡、研究会での報告、年報への投稿資格などが停止される場合もあります。理事選挙のある年の7月1日時点で当該年度の会費が未納の場合、理事選挙における選挙権・被選挙権が停止されます。会費は、滞納がある場合、滞納分から充当していきます。

2008年度から、滞納猶予期限3年を経過した会員の方には自動的に退会して頂くことになっております。2013年3月末日で3年間会費未納の場合、2012年度をもって自動退会扱いとなります。

なお、会費納入状況につきましては、学会HPの会員用ページ（My JAES）でご確認下さい（<https://www.jaesnet.org/myjaes/index.php>）。

【2013年度総会・研究会について】

2013年度の総会・研究会は、2013年5月18日（土）・19日（日）の2日間、鈴木基史大会運営委員長の下、京都大学（京都府京都市）で開催される予定です。

宿泊については、開催校では準備いたしませんので、各自でご手配下さい。懇親会は、18日（土）に京都ロイヤルホテル&スパで実施いたします。奮ってご参加下さい。

【学会ホームページについて】

2009年に学会HPの全面的なリニューアルを行うとともに、会員用ページ（My JAES）を導入しました。My JAESでは、会員情報（「所属」「役職」「メールアドレス」「生年」）・書類送付先（「郵便番号」「住所」「電話番号」「FAX番号」（電話・FAX番号の登録は任意））の変更、会費納入状況の確認を、会員ご自身の手で行って頂くことができますので、是非ご活用下さい。特に、書類送付先については、誤配・遅配などの原因となりますので、会員各自で随時更新して頂きますようお願い申し上げます。また、研究会での報告の応募、報告概要や論文のダウンロード・アップロードを学会HPで行うようになっております。今後、論文投稿なども学会HPで行うよう開発を進めて参ります。

※※※事務局からのお願い※※※

事務局からの各種ご案内も、学会 HP やメールを活用して行うようになっておりますが、登録されているメールアドレスに誤りがある場合、配信不能となってしまいます。My JAES にて、ご自身のメールアドレスに誤りがないか、ご確認頂きますようお願い申し上げます。

【『選挙研究』の電子アーカイブ化・電子ジャーナル化について】

すでにご案内したとおり、日本選挙学会年報『選挙研究』第1号から第23号については、電子アーカイブ化が済み、独立行政法人・科学技術振興機構（JST）の J-Stage（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaes1986/-char/ja/>）で公開されております（2012年度より J-Stage に登載移行となりました）。是非ご活用下さい。

既刊の第24巻から第28巻2号については、電子情報化特別委員会（今井亮佑委員長）において、電子ジャーナル化の準備（J-Stage へのアップロードに向けたファイルの変換作業）を行っております。

なお、『選挙研究』に掲載される論文等は、発行から2年が経過した後、原則として電子化されます。ご執筆頂く方々には、この旨ご了解頂きますよう、お願い申し上げます。

何かご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局について】

日本選挙学会の事務局は、理事長の所属する学習院大学に所在しておりますが、事務局長・幹事は以下の5名が務めております。学会に関する各種お問い合わせは、事務局長までお願いいたします。

事務局長：名取 良太（関西大学総合情報学部）
〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町 2-1-1
Tel：072-690-2151（代表）
E-mail：office@jaesnet.org

幹 事：荒井 紀一郎（早稲田大学）
境家 史郎（東京大学）
岡田 陽介（慶應義塾大学）
清水 唯一朗（慶應義塾大学）

[目次へ](#)